

緑の相談コーナーだより

NO. 310 2011. 4. 1発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “クスノキ” (樟)

～ 枝葉をのびのびと広げて茂る雄大な樹～

クスノキは、日本では関東以西の温暖な地域でふつうに見られる樹木です。北海道の屋外では生育しませんが、岩見沢の室内公園「色彩館」内には 12 ～ 13 m に成長したクスノキがあり、四季を通じて観察することができます。クスノキ科の植物の分布の中心は、赤道をはさんだ南北両側の熱帯や亜熱帯で、東南アジアやブラジルに種類が多く、日本にも 8 属 27 種が分布します。

日本書紀に、^{すさのおのみこと}素戔鳴尊が髪の毛を抜いて植えたのがクスノキで、舟の材料にせよと言われたことが記されているといわれますが、最近では日本に本来自生するものではないとする説があります。いずれにしても、若葉は黄紅色で美しく、特異な芳香が好まれます。この芳香は、葉や枝、とくに材の部分に多く含まれる樟脳という成分の香りです。樟脳は一般には防虫剤として知られますが、カンフル注射のカンフルも樟脳のことで、昔から強心剤や局所刺激剤として利用され、古くは 6 世紀の記録に記されているといえます。

それにしてもクスノキは、大木になる樹木の筆頭ではないでしょうか？ 成長が速く、樹齢数百年の巨木ともなると、1 本の木で森のような景観をつくりだします。かつて環境省が行った「緑の国勢調査」による全樹種参加の巨樹ランキングによると、上位 20 傑のうち 14 件がクスノキで、その巨木ぶりは圧倒的です。とくに鹿児島県の「^{かもろ}蒲生の大クス」は有名で、幹まわりは 24.2 m、樹高が 30 m で推定樹齢 1500 年といわれます。また、クスノキの樹姿は荘厳で、神々しさが漂っているように感じられます。このことから、社寺仏閣のまわりであって、聖木として信仰を集めるものもあります。



Cinnamomum Camphora SIEB.
クスノキ

クスノキの語源は、「クスシキ」または「クスシキキ」からの転訛という説が有力で、古くから霊妙なる薬効をもつことから、「奇木（くすしきき）」あるいは「薬師木（くすしき）」となったようです。日本ではクスノキに「楠」の漢字を当てることが多いのですが、中国ではクスノキの仲間には「樟」、タブノキの仲間は「楠」と使い分けています。最近、わが国でもこの使い分けにならった方がよいという説があります。というのは、クスノキは日本の自生種ではなく、中国や台湾から持ち込まれたという考え方が有力になってきたからです。

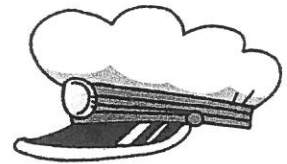
材質と用途ですが、辺材は灰白色から淡黄褐色で、心材は黄褐色から紅褐色の散孔材で芳香を有します。用途としては床柱、家具、彫刻、楽器、仏壇、木魚、盆、椀の外、材に含んでいる樟脳は防虫の効果があるため筆筒の内装材などの特殊な用途があります。

楠の木の新芽に喜寿を励まされ

力丸



公園だより



バラ園

今年の冬は異常な大雪に見舞われ、雪解けとともに庭木の雪折れや枝抜けなどの被害が顕著になってきました。4月は、これら雪害のあとの手当や事後対策に忙しいことと思いますが、もう一踏ん張りです。お互いに頑張りましょう。バラ園では、雪の下で育まれたバラ達の若芽が目覚まし、輝きを増してきております。ハマナスの丘ではフキノトウが顔を出し始めます。下旬頃には生け垣のレンギョウが黄金色の花を咲かせることでしょう。キタコブシも今年は沢山の蕾をふくらませておりますので、ぜひ覗いて見て下さい。

♥**今月のバラ園からの一口メモ**は、株バラの春の剪定についてです。北海道では、冬の間休眠していたバラの手入れは、春一番の大切な作業となります。この時期の剪定は、冬越し中に傷んだ枝や老化した古い枝を切り取ってバラを若返らせ、美しい花を咲かせるために行います。枝の切り方は、伸ばそうとする芽の位置を確認し、内芽にならないようにして良い樹形に仕立てるようにします。また、枝を切るときのハサミの入れ方ですが、受け刃を上にして、切り口をつぶさないようにします。

室内公園色彩館では、女性に人気のハナミズキの花が終わりに近づいております。かわって、スーヴニール・ドウ・ラ・マルメゾンやモッコウバラなどのツルバラが壁面を飾っており、間もなくピエール・ドウ・ロンサールもピンク色の大きな花を咲かせることでしょう。今月はこれらツルバラの花を中心に楽しんで頂けます。

南国温室では、レモン、ブントンの実が色づきを増しています。四季なりミカンも沢山の花をつけており、アンズリウム、ランタナなどの花も咲き続けています。

相 談 日 記

問 庭に植えられている花木の開花について伺います。水や肥料もきちんと与えており、生育も順調でよく繁っているようなのに、開花の時期になってもさっぱり花が咲きません。この原因として何が考えられるのでしょうか？また、治療法や対策などがあれば知りたいのですが。

答 草花と違って、樹木はその種類にもよりますが、剪定作業を行うことが多いと思います。そこで、まず考えられるのは適切な剪定が行われていないことが原因と疑われます。花木や果樹などでは、剪定を行って樹形を整えたり、余分な枝を切ることによって、花芽（花をつける芽のこと）や果実に栄養が行き届くようにする必要があります。ところが、剪定の時期や切る位置を間違えて、花芽を切ってしまうと花が咲きません。花芽が作られる時期は樹木の種類によって異なりますが、ふつうは花芽を形成する前に剪定します。

また、剪定以外でも害虫や病気によって花芽がなくなってしまうと、花は咲きません。ツツジ類などでのベニモンアオリンガの被害は、この代表的なものです。

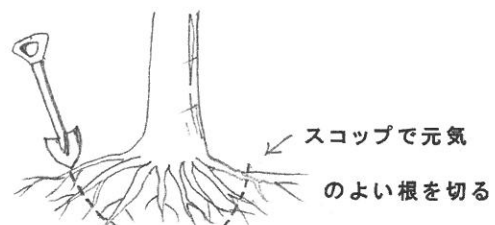
花が咲くためには、日の光も欠かせません。日当たりの悪い場所に植えられていると、枝が込みすぎていると、日照不足のため花芽が作られにくくなります。

剪定などの管理を正しく行っても、まだ若木である場合も花芽はできません。特に果樹などでは成木になって花をつけるようになるまで、何年もかかるものがあります。

治療と予防のポイント 日照不足が原因の場合は、日当たりのよい場所に植え替えたり、日差しを遮る障害物を取り除きます。病害や虫害の場合は、それぞれ適した方法で防除しましょう。また、花つきをよくするために樹勢を弱める方法として、元気のよい根を切って枝の伸びを一時的に抑えるのも有効的です。剪定作業を行う時は、育てている樹木の剪定の方法や花芽のつき方を確認し、正しい時期に適切な方法で行い、繁りすぎて枝が込み合っていたら、日光がよく当たるように余分な枝を間引きしましょう。

花後すぐに剪定	ツツジ類、ウメ、コデマリ、コブシ ユキヤナギ、レンギョウ、ツバキ
剪定しなくても よい樹木	カイドウ、サクラ、シャクナゲ、 クリ

樹勢の弱め方



古くから栽培される園芸植物～センニチコウ 花言葉 永遠の恋



ひゅ科ゴンフレナ属の一年草で、日本各地の庭園に植えられています。元来は熱帯地方原産の草花です。夏から秋にかけて茎の先に長い花茎をだし、その先に1個の球状頭花をつけます。頭花は色のついた翼のある2個の小包につつまれた多数の小花からできていて、小花はふつう紅色ですが、まれには淡紅色や白色のものもあります。日本名の千日紅も千日草も花が長持ちするからついた名で、一変種に数個の頭花が団集するものがあり、ヤツガシラセンニチコウといいます。属名の *Gomphrena* はヒユ属の古名で、種名の *globosa* は球形、玉の意味で、名前は花序の形状からきております。性質は強健で、日当たりのよい所を好みます。春に種まきをして、夏から秋に開花させますが、切り花用の高性種と鉢物用の矮性種があります。多湿を嫌いますので、水やりは鉢土が乾いてからたっぷりとあたえます。わき芽を残し、花がらを切り取って、わき芽を殖やすと次々に花が咲きます。また、満開になる前に切り取ってドライフラワーとします。

4～5月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

♣ ハングング作りの基本

日時 4月 10日(日) 13:00～15:00

講師 月形コテージガーデン 梅木あゆみ さん 定員 40人 材料代 1500円



♣ 楽しい家庭菜園作りⅠ

日時 4月 24日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ バラ作りの魅力と楽しさ

日時 5月 8日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 平井 正良 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ 楽しい家庭菜園作りⅡ

日時 5月 15日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘 さん 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド(空知リゾートシティ株式会社)

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで